

奄美市長 安田壮平殿

政策提言書
災害に強いシマづくり

令和8年3月 最終提言

奄美市議会
政策立案推進会議

はじめに

奄美市においては、本年度、平成22年に発生した奄美豪雨災害から15年という大きな節目の年を迎えた。この豪雨災害は、尊い人命が失われたとともに、市民生活や地域経済に甚大な被害をもたらし、自然災害に対する備えの重要性を改めて認識させられた出来事であった。

一方で、近年は気候変動の影響等により、全国各地で豪雨、台風、地震などの自然災害が頻発・激甚化しており、奄美群島においても、これまでの経験や想定を上回る災害リスクに常にさらされている状況にある。特に、地理的条件や高齢化の進行、集落の分散といった本市特有の課題を踏まえると、行政による防災対策のみならず、地域全体で災害に備える体制づくりが、これまで以上に求められている。

このような状況を踏まえ、奄美市議会政策立案推進会議では、奄美豪雨災害の教訓を風化させることなく、将来にわたり市民の生命、身体及び財産を守る「災害に強いシマづくり」を推進することが重要であると考え、ここに政策提言を立案した。

市長におかれては、この提言の趣旨をお汲み取りいただき、積極的に取り組まれるよう市議会として強く提言する。

目次

1. 政策提言(3つの柱)
2. 政策提言の根拠と対策
3. 段階的実行計画
4. 対策一覧
(短期／中期／中長期・共助／公助)
5. 調査研究の経過

1. 政策提言

提言1:逃げ場所を整える(避難所の安心アップ)
「いつでも、誰でも、安心して逃げ込める避難所へ」

提言2:備えを固める(途切れない暮らしの維持)
「災害に強く、孤立しても自立できる集落へ」

提言3:つながりを守る(届く情報と助け合い)
「ひとりぼっちをつくらない、確かな情報と支え合い」

なお、本提言は、災害への備えにおいて「自助」が基本であることを大前提とし、そのうえで共助・公助の強化を図る観点から取りまとめたものである

2. 政策提言の根拠と対策

提言1: 逃げ場所を整える(避難所の安心アップ)

「いつでも、誰でも、安心して逃げ込める避難所へ」

<要旨>: 避難所は単に「場所」を示すだけでなく、安全性・衛生性・長期滞在の機能整備が必要。ハザードに適合しない配置や設備不足は避難行動の阻害要因となり、避難所自体が二次被害の場になり得る。

<主な課題>

- 指定避難所の立地がハザードマップと整合していない。
- トイレ・空調・バリアフリー等の設備が不十分で長期滞在に耐えられない。
- 運営ルールや鍵管理、男女別・多様性配慮が未整備で混乱が生じやすい。

<対策の方向性>

- 短期: まずは現況調査と運営マニュアル整備で「安全に使える避難所」を確保
- 中期: 設備改善(空調・恒久トイレ・蓄電)で「長期滞在可能な避難所」へ強化
- 中長期: 立地リスクを根本的に解消する為に、適切な避難所を設定

2. 政策提言の根拠と対策

提言2: 備えを固める(途切れない暮らしの維持) 「災害に強く、孤立しても自立できる集落へ」

＜要旨＞: ライフラインの断絶や備蓄管理の不備は、被災直後の生活継続を阻む。個人・地域・行政の三層で多重化・分散化された備えを構築することが、孤立時の自立性を高める鍵である。

＜主な課題＞

- 備蓄の数量・期限・保管場所が一元管理されておらず、配布ルールが不明確。
- 停電・断水時の代替電源・水源が不足している。
- 単一の供給経路に依存しているため復旧遅延時に致命的な影響が出る。

＜対策の方向性＞

- 短期: 備蓄台帳のデジタル化と点検体制を整え、即時配布可能な環境整備
- 中期: 地域に適した再生可能エネルギー＋蓄電、非常用発電機、備蓄倉庫整備で物理的な耐久力を向上
- 中長期: 地域間での分散備蓄協定や相互支援ルートを定着させ、供給網のバックアップ機能を強化

2. 政策提言の根拠と対策

提言3: つながりを守る(届く情報と助け合い)

「ひとりぼっちをつくらない、確かな情報と支え合い」

<要旨>: 情報断絶と人的孤立は「逃げ遅れ」や支援の届かない状態を生む。
技術的な情報伝達手段と、日常から機能する見守り・連携体制の両輪で、情報と支援が確実に届く仕組みづくりが必要。

<主な課題>

- ・防災無線やラジオの聞き取りにくさ、通信障害時の代替手段不足。
- ・高齢者・単身世帯の名簿化や見守り体制が不十分で、避難時の個別対応が困難。
- ・地域外からのボランティア受入に対する指揮系統が分散しており、外部支援の活用が非効率。

<対策の方向性>

- 短期: 防災ラジオ配布・FMアンテナ整備・安否確認フローの確立・受入窓口の一本化で情報と支援の即時性を確保
- 中期: 衛星通信や避難所Wi-Fiを導入し、通信途絶時でも情報が届く体制整備
- 中長期: 自主防災組織・コーディネーター育成と地域外ボランティア組織との交流による人的ネットワークを持続化

3. 段階的実行計画

A. 短期

目的：即効性のある運用改善で被害軽減と住民の安心を確保

<主要施策(実施手順)>

- ①：避難所(福祉避難所含む)現況調査：全指定避難所の設備・収容力・ハザード適合性を調査し優先改修リストを作成**
- ②：男女共同参画の視点にたった運営マニュアル整備：鍵管理、衛生管理、避難所運営ガイドラインの標準化**
- ③：備蓄の一元管理：デジタル台帳導入、点検スケジュール設定**
- ④：情報伝達強化：防災ラジオ全戸配布、FMアンテナ整備、LINE+自治会の安否確認フロー確立**
- ⑤：訓練実施：避難所運営訓練と安否確認訓練の実施計画立案**

3. 段階的実行計画

B. 中期

目的：停電・断水・通信途絶に耐えるインフラ整備

<主要施策>

- ①：避難所設備改善：空調、バリアフリー、恒久トイレ(循環式等)、寝具・衛生設備の整備**
- ②：電力・水の代替確保：地域に適した再生可能エネルギー＋蓄電システム、非常用発電機、湧水活用設備の導入**
- ③：通信強靱化：避難所Wi-Fi、衛星通信(非常時用)、ネット水位計等の遠隔監視導入**
- ④：備蓄倉庫整備：コンテナ等による分散倉庫と管理体制の構築**
- ⑤：避難所の妥当性検討：ハザードマップに基づいた適切な避難所の立案**

3. 段階的実行計画

C. 中長期

目的：地域の自助・共助力を高め、持続可能な支援体制を確立

<主要施策>

- ①：自主防災組織強化：コーディネーター育成、報酬・評価制度、若手参加促進プログラム**
- ②：地域外からのボランティア受入体制：受入窓口（社会福祉協議会）が効率的に機能する仕組みづくり、登録・配置システム、合同訓練の定着**
- ③：高齢者・要配慮者支援：名簿化、個別避難計画、日常の見守りネットワーク整備**
- ④：地域間連携：隣接集落との物資・人員相互支援協定の締結**
- ⑤：継続的評価と改善：KPIに基づく年次レビューと計画改定**
- ⑥：災害に強い道路・河川整備の推進**

4. 対策一覧

(短期／中期／中長期 ・ 共助／公助)

施策	期間	共助／公助	No
避難場所現況調査・優先改修リスト作成	短期	共助／公助	①
運営マニュアル作成・訓練	短期	共助／公助	②
備蓄台帳デジタル化・点検	短期	共助／公助	③
防災ラジオ配布・FM整備	短期	公助	④
ボランティア受入窓口整備	短期	共助／公助	⑤
個別避難計画の作成	短期	共助／公助	⑥
避難所設備改善(空調・恒久トイレ等)	中期	共助／公助	⑦
地域に適した再生可能エネルギー＋蓄電導入	中期	共助／公助	⑧
衛星通信・Wi-Fi整備	中期	公助	⑨
備蓄倉庫(コンテナ等)整備	中期	共助／公助	⑩
避難所の適正配置・改修・新設	中長期	公助	⑪
地域間連携	中長期	共助／公助	⑫
コーディネーター育成・研修	中長期	共助／公助	⑬
道路・河川整備の推進	中長期	公助	⑭

5. 調査研究の経過

1. 令和7年6月12日 【第1回】 政策立案について、テーマの選定方法について
2. 令和7年6月30日 【第2回】 テーマの決定
3. 令和7年7月22日 【第3回】 調査研究の進め方の決定
4. 令和7年8月15日 【第4回】 当局ヒアリング(2010年豪雨災害・2022年津波警報の振り返り)
5. 令和7年10月28日 【第5回】 集落等ヒアリング先の選定
6. 令和7年11月18日 【集落ヒアリング①】 「市集落」
7. 令和7年11月18日 【集落ヒアリング②】 「西仲間集落」
8. 令和7年11月19日 【集落ヒアリング③】 「名瀬勝集落」
9. 令和7年11月26日 【集落ヒアリング④】 「知名瀬集落」
10. 令和7年11月28日 【集落ヒアリング⑤】 「佐仁集落」
11. 令和8年1月7日 【第6回】 集落ヒアリング結果のまとめ、課題に対する解決策案について
12. 令和8年1月27日 【事業所ヒアリング①】 「あまみエフエム ディュエイヴ」
13. 令和8年1月28日 【第7回】 あるべき姿のまとめ、当局側の認識との整合
14. 令和8年2月2日 【集落ヒアリング⑥】 「住用囑託員会」
15. 令和8年2月2日 【事業所ヒアリング②】 「大島郡医師会・医師会病院・虹の丘」
16. 令和8年2月3日 【集落ヒアリング⑦】 「笠利駐在員会」
17. 令和8年2月18日 【第8回】 追加ヒアリング内容の整理と確認
18. 令和8年2月26日 【第9回】 最終提言書(案)の確認
19. 令和8年3月10日 【全員協議会】 最終提言書の報告

奄美市議会政策立案推進会議 委員名簿

氏 名	会 派 名
西 忠男	チャレンジ奄美
帯屋 誠二	無 所 属
○ 瀧 真一郎	無 所 属
◎ 正野 卓矢	チャレンジ奄美
盛 剛	無 所 属
崎田 信正	日 本 共 産 党
栄 ヤスエ	公 明 党
与 勝広	公 明 党
奥 晃郎	自 民 党 新 政 会
伊東 隆吉	自 民 党 新 政 会

◎座長 ○副座長